

看護過程論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期 間	後期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

対象の看護ニーズに適した看護を展開するための看護過程の概念と意義、および看護過程展開方法の基本的な知識について講義を通して学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

看護過程の基盤となる考え方と、看護過程の各段階、看護過程の記録と看護診断について知り、説明できるようになる。
事例に基づいた看護過程の展開方法を学び、提示された事例について個人課題に取り組むことで、看護計画の立案ができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5

・到達目標（SBO）

- 1.看護過程とは何かを説明できる。
- 2.クリティカルシンキングとEBP(Evidence Based Practice)の考え方について説明できる。
- 3.リフレクションとは何かを説明できる。
- 4.看護過程の展開に際して、心理社会的な側面のアセスメントに活用できる理論と、その概要について説明できる。
- 5.看護記録の目的・意義について説明することができる。
- 6.アセスメントの枠組みとは何かを説明できる。
- 7.提示したアセスメントの枠組みの項目を記述でき、項目ごとの情報整理のポイントをあげることができる。
- 8.指定のアセスメント項目に、必要なデータを記載し、アセスメントを記述できる。
- 9.関連図とは何かを説明でき、関連図から看護上の問題点を見出し記述する方法を説明できる。
- 10.看護計画の記載方法を説明でき、提示された事例の看護計画を立案することができる。
- 11.看護過程の評価とは何かを説明でき、提示された事例の看護計画の評価することができる。

- 12.「看護診断」はアセスメントの結果の表現であることを説明できる。
- 13.NANDA 看護診断用語集の概要を知る
- 14.実際に看護過程の展開をする際には、「看護過程の基盤となる考え方」を身につけていることの大切さに気づく。
- 15.事例展開を通して、看護過程の展開をする上での自己の課題を述べる。

・ 授業日程 (矢) 西 1-B 講義室、 (矢) マルチ 2-A 実習室、 (矢) マルチ 2-B 実習室
【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
11/8	火	1	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	看護過程とは クリティカルシンキングと EBP、 リフレクション ・看護過程とは何かを説明できる ・クリティカルシンキングと EBP(Evidence Based Practice) の考え方について説明できる ・リフレクションとは何かを説明 できる。 【事前学習】 教科書 P198～201 を読んでおくこ と。 【事後課題】 講義資料を復習する
11/15	火	1	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	看護過程に活用できる理論や枠組 み ・看護過程の展開に際して、特に 心理社会的な側面のアセスメン トに活用できる理論と、その概 要について説明できる 【事前学習】 看護学概論の講義資料の「理論と は」を復習する 【事後課題】 講義資料の復習する

11/29	火	1	共通基盤看護学講座	柏木 ゆきえ 特任准教授	<p>看護過程アセスメントの枠組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの枠組みとは何かを説明できる。 ・提示したアセスメントの枠組みの項目を記述できる。 ・アセスメントの枠組みの項目ごとの情報整理のポイントをあげることができる。 <p>【事前学習】 教科書 P201～204 を読んでおくこと。</p> <p>【事後課題】 講義資料の復習する</p>
12/1	木	1	共通基盤看護学講座	<p>菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>事例を用いての看護過程① 〈個人ワーク含む〉 アセスメントの記載方法の説明 指定のアセスメント項目を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークで、指定のアセスメント項目に、必要なデータを記載し、アセスメントを記述する。
12/12	月	2	共通基盤看護学講座	<p>菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>事例を用いての看護過程② 〈個人ワーク含む〉 「関連図」「看護上の問題の明確化」 記載方法の説明 関連図の一部を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連図とは何かを説明できる。 ・関連図から看護上の問題点を見出し記述する方法を説明できる。 ・個人ワークで、事例のアセスメント内容から関連図への記載内容を見出し、関連図の一部を記述する。
12/19	月	2	共通基盤看護学講座	<p>菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師</p>	<p>事例を用いての看護過程③ 〈個人ワーク含む〉 看護計画の記載方法の説明 「看護計画」の一部を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護計画の記載方法を説明できる。 ・個人ワークで提示された事例の看護計画を立案することができる

1/6	金	2	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	事例を用いての看護過程④ <個人ワーク含む> 看護計画の評価の記載方法の説明 「評価」の一部を記載 看護記録とは ・看護計画の評価の記載方法を説明できる。 ・提示された事例の看護計画の一部分を評価することができる ・看護記録の目的・意義について説明することができる
1/6	金	3	共通基盤看護学講座	菫蒲澤 幸子 教授	看護過程展開の基盤となるもの 看護診断とは ・実際に看護過程の展開をする際には、最初の講義で説明した「看護過程の基盤となる考え方」を身につけていることの大切さに気づく。 ・事例展開を通して、看護過程の展開をする上での疑問点を述べる。 ・「看護診断」はアセスメントの結果の表現であることを説明できる。 ・NANDA 看護診断用語集の概要を知る 【事前学習】 第1回の講義資料を読んでおくこと。 【事後課題】 講義資料の復習する

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 第7版	志自岐康子, 松尾ミヨ子, 習 田明裕 編集	メディカ出版	2022
教	アセスメント・看護計画がわかる 症状別看護過程第2版	小田正枝編集	照林社	2021

・ 成績評価方法

レポート評価 100%

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

第1回、2回、3回、8回の事前事後課題は授業内容に示した。

看護過程の個人ワークでは、同時期に履修する解剖学・生理学・病理学の復習を丁寧に行い、事例のアセスメントにその学習内容を活かすこと。

個人ワークは、事例展開のために必要な事前事後学習を実施していることを前提にすすめる。授業終了後は、教科書・配付資料等を用いて、看護過程の知識と展開方法の理解の定着に努めること。

各授業については、最低30分の事前学修を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

事例を用いての看護過程の展開①～④の個人ワーク時には、教員が巡回して助言を行う。授業終了後に提出された個人ワークの記録には個別にコメントする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門分野 基礎看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影